

6月1日から6月30日は「土砂災害防止月間」です

土砂災害に備えよう

毎年のように日本各地で大雨による土砂災害が発生しています。また、土砂災害はいつ発生するかわかりません。いざというとき慌てないよう、日ごろの準備や心構えが大切です。

町のホームページでは、町内の土砂災害危険箇所と、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域をお知らせしています。まず自分のお住まいの地域にどんな災害が発生する恐れがあるのかということをご確認ください。

◆ 町ホームページから確認する

町ホームページ <http://www.town.ino.kochi.jp/> のトップページから
→「防災情報」のタブ →「土砂災害」
→「土砂災害啓発冊子と土砂災害危険箇所マップ」

◆ ホームページで確認できないときは総務課危機管理室（☎ 893-1113）までお問い合わせください。

◆ 高知県土砂災害危険度情報（土砂災害の危険度の高まりを確認できます）
<http://d-keikai.pref.kochi.lg.jp/>

知っていますか、土砂災害の種類

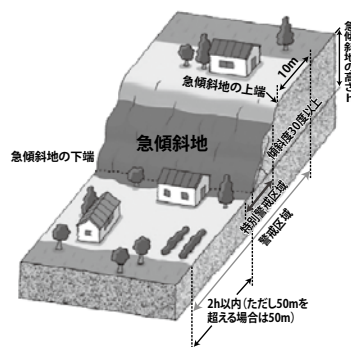
1 1 がけ崩れ

大雨や長雨により、大量の水分が地面にしみ込み、土と土との抵抗力を弱め、不安定になった斜面が急に崩れ落ちることをいいます。また、地震によって斜面が突然崩れ落ちるものをいいます。瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。

⚠️ こんな前兆現象に要注意！

- ・小石が落ちたり、がけが崩れだす
- ・斜面の途中から急に水が吹きだす
- ・湧水の量が急に増えたり噴出している湧水が急に止まる
- ・湧水が濁った
- ・地鳴りや山鳴りがする
- ・樹木が倒れたりゆれたりする
- ・斜面にひび割れが入る

※危険な場所：斜面高さが5m以上ある。斜面勾配が30度以上ある。
斜面の上が張り出している。ひび割れ・湧水が多い



2 2 地すべり

粘土質などのすべりやすい特殊な土質を境に、上部の斜面が地震、大雨、地下水などの影響により、緩やかにすべり落ちることをいいます。なだらかな斜面でも発生することがあるので、広い範囲に被害が及ぶこともあります。

⚠️ こんな前兆現象に要注意！

- ・山腹や地面に亀裂が入る
- ・壁や塀に亀裂が入る
- ・沢や井戸が濁る
- ・戸や引き戸が閉まりにくい、家がゆがみ始める
- ・樹木が傾く、木の根が切れる音がある
- ・地鳴りや山鳴りがする
- ・湧水が吹きだす
- ・床や壁、木、電柱が傾く
- ・地面に起伏ができる

